

# 日本総陰(5840)

## 保険会社から独立して契約者利益を保護する「保険仲立人」のパイオニア。卓越した新規事業創出力

TOKYO PRO Market | 保険ブローカー・サービス | 会社紹介

BLOOMBERG 5840:JP | REUTERS 5840.T

- 保険代理店が販売チャネルの主流である日本で、欧米の保険ブローカーと同様の役割を有する「保険仲立人」のパイオニアとして事業展開。
- 損害保険会社間の価格事前調整の疑いや保険代理店による不正請求が社会問題化。保険会社から独立した立場の保険仲立人は時代の要請。
- 主力の保険ブローキングサービスを基盤としつつ、リスクに関する顧客ニーズを新規事業化し、短期間で成長拡大させる事業創出力に特徴。

### 同社の事業について

同社は保険会社の代理店（Sellers-Agent）が販売チャネルの主流となっている日本の企業向け損害保険の領域において、欧米の保険ブローカーと同じような機能・役割を有する「保険仲立（なかだち）人」のパイオニアとして、同制度が日本に導入された1996年より保険契約者のエージェント（Buyers-Agent）としての事業の理想を追求してきた。

同社は、①保険ブローキングサービス、②保険ビジネスサポートサービス、③リスクコンサルティングサービス、④クレジットワランティサービス、⑤生命保険関連のセールスエージェントサービス、⑥2023年から本格運用の「みんなほけ」サービスを提供。2022年11月通期の営業収益構成比は、①56%、②10%、③3%、④16%、⑤15%となっている。

同社の事業の強みとして主に以下の2点が挙げられる。第1に、損害保険の業界慣行に対する不信感の高まりである。大手損害保険会社間で企業向け火災保険料等の事前調整の疑いのほか、保険代理店による損害保険会社への不正請求など保険契約者の利益が考慮されない損害保険の実態が明らかとなり社会問題化している。保険会社から独立した立場で契約の媒介を行う保険仲立人の存在は時代が求めているものと言えよう。

第2に、卓越した事業創出能力である。主力の保険ブローキングサービスを基盤としつつ、リスクデューデリジェンスやリスクコンサルティングサービスを通じて顧客ニーズを汲み上げて新規事業に繋げている。約3年前に開始した保証ビジネスサポートやクレジットワランティのサービスは高い増収率を示し、会社の成長拡大を牽引する事業となっている。

### 業績と見通し

2022/11通期実績は、営業収益が前期比20.0%増の3.56億円、営業利益が前年同期の▲24百万円から19百万円へ黒字転換。主力の保険ブローキングサービスが同8.8%増収に加え、保証ビジネスサポートサービスが同25.2%増収、クレジットワランティサービスが同334%増収と拡大した。

2023/11通期会社計画は、営業収益が前期比16.8%増の4.16億円、営業利益が同68.4%増の33百万円。クレジットワランティサービス増加に伴う再保険料費用や人件費の増加を吸収して営業増益を見込む。保険弱者とされてきた個人事業者・零細事業者を対象にクラウドファンディング形式で申し込みから事故処理までWEBで完結するインシュアテックの「みんなほけ」サービスを本格運用開始。成長牽引役として期待される。

### 業績推移

事業年度	2020/11	2021/11	2022/11	2023/11F
営業収益(百万円)	270	296	356	416
経常利益(百万円)	-50	-15	24	26
当期利益(百万円)	-51	-16	25	18
EPS(円)	-77.54	-25.39	38.13	28.22
PER(倍)	-	-	26.49	35.79
BPS(円)	77.03	51.64	89.78	-
PBR(倍)	13.11	19.56	11.25	-
配当(円)	0.00	0.00	0.00	-
配当利回り(%)	0.00	0.00	0.00	-

(※)2023/4/26付で普通株式1株を100株とする株式分割を実施。2020/11期の期首に当該株式分割が行われたと仮定してEPS、BPS、配当を算定している。(出所:会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=会社予想)

配当予想(円) - (会社予想)  
株価(円) 1,010 2023/8/4(終値)

### 会社概要

1996年12月に香川県高松市で設立し、「保険仲立（なかだち）人」の登録を行う。保険仲立人は顧客のために誠実に保険契約の締結の媒介を行い、最適な保険を推奨する者を指し、「保険代理店」とは異なる。

同社は以下の6つのサービスを提供する。

①**保険ブローキングサービス**。「リスク・デューデリジェンス」実施後に入札方式により保険の調達購買を行う「前プロセス」、および事故対応部門が保険事故発生時に「ロスサーベイ」を行って顧客の保険金受取を支援する「後プロセス」がある。

②**保険ビジネスサポートサービス**。顧客の保証ビジネスが効果的となるように保証制度の構築や運営をサポート。

③**リスクコンサルティングサービス**。リスク担当専任役員である「リスクマネージャー」の代行サービスを行う。

④**クレジットワランティサービス**。「債務保証」および「保険適用外保証」の両方を提供。債務不履行時に、債務を代位弁済し債務者から代位弁済分の回収業務を行う。

⑤**保険セールス・エージェントサービス**。損害保険と異なり、生命保険に関しては保険代理店での専売としている。

⑥**「みんなほけ」サービス**。個人事業者および零細事業者を対象として日本初のクラウドファンディング形式で申し込みから事故処理までをWEBで完結する事業モデル。

2023年8月4日にTOKYO PRO Marketへ新規上場した。

### 企業データ

主要株主 (2023/6/30)	(%)
1. 葛石 智	37.7
2. 葛石 真士	15.2
3. 葛石 晋三	15.2
4. K&Pパートナーズ1号投資事業有限責任組合	9.0
5. 日本アジア投資株式会社	7.5

(出所:会社公表資料をもとにフィリップ証券作成)

### リサーチ部

笹木 和弘  
kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp  
+81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>

1. 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。
2. 当社は、東京証券取引所の定める「特定上場有価証券に関する上場規程の特例」(以下「特例」)第102条の規定に基づき、発行会社の担当 J-Adviser に就任する旨の契約を締結いたしております。また、当社は、「特例」第135条に定める流動性プロバイダーであり、発行会社株式の円滑な流通の確保に努めるほか、流動性プロバイダーとしての義務を負っています。